

自分の活動に見通しを持ち、正しく判断しながら行動する子

～あらゆる場面を生かして、タイムリーな指導をめざす～

田村 洋子

はじめに

T男は、比較的指示理解がよく、基本的生活習慣もほぼ確立している。人との関わりも自ら求めて積極的に行動し、世話好きである。しかし、自分勝手な思い込みや話の聞き違いが多く、T男の言動で周囲の者が混乱してしまうことがある。T男自身、何が間違っていたのか気づくことは少なく、友だちに指摘されても素直に認めることができない。T男は見聞きして分かったつもりになる傾向が強く、実際にやらせてみるとその経験の少なさに驚かされる。言うこととすることのギャップがとても大きいと言える。リーダーシップが取れ、機会があればその枠の中で楽しもうとするT男。長所を生かして持てる力を有効に生きて働く力として使い、上辺だけでない真の喜びが実感できるような生活（生活の質の向上をめざす）を送ることを願っている。

1 プロフィール

(1) 生育歴

- ・昭和57年4月20日生 14歳7か月 中学部2年 男子
- ・4人兄弟の末っ子で、すぐ上の兄は本校高等部2年生である。
- ・両親の帰宅が遅いため、夜8時頃まで兄と2人で留守番をしている。

(2) 諸検査による実態

- ・知能検査 IQ69（言語性60 動作性86）WISC-R 平成8年7月実施
- ・S-M社会生活能力検査 SA10:3

表-17 S-M社会生活能力検査

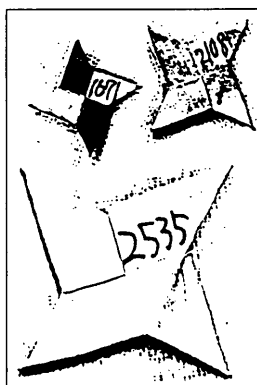
- ・自分づくりの段階
自己客観視の芽生えの段階にあると考えられる。

身辺自立	移 動	作 業	意志交換	集団参加	自己統制
10-6	12-0	10-10	9-10	8-7	10-11

- ・楽しんでいる姿の特徴

《例1》経験したことや自信のあることの範囲をワンパターンで楽しむが、そればかりに偏りやすく拡がりがない。音楽を聴くのが好きで、カセットデッキの前に座ってじっと音楽を聴いている。

《例2》小学校の時に担任の先生に習った折り紙の「手裏剣」を大・中・小と大きさを変えて折り、6万個以上折り続けている。「家ですることがないので」と言い、両親が帰宅するまでの時間や休日に折っている。手裏剣の一つ毎にロット番号を入れる。



手裏剣（実物大）



手裏剣を使ったモザイク絵

2 取り組みの構想

(1) 指導仮説

「やってみたい」という意欲やそれなりの理解力、行動力がありながらそれを有効に使う術を身につけていない。また、思い込みが強く、一度思い込んだら柔軟に対応できないので、応用や工夫に発展しない。しかも、本人はそれが最高と満足している。このような現状を打破したい。人の意見を素直に受け入れたり、物事の道理を自分なりによく考えたりする態度が身につけば、柔軟な対応ができるようになると考える。また、自信を持っていることから切り込み、次へと続く課題を与えることで、自分なりに発展的な考えをつなげることができる。このように順序を積み上げて経験することによって、見通しを持って正しく判断する力がついていくものと考えている。T男が豊かに生活を楽しむためには「人に信頼される言動がとれること」、そのことをT男自身が喜びとして感じるようになることが重要である。

<めざす像>自分の活動に見通しを持ち、正しく判断しながら行動する子

<つきたい力>基礎体力（バランス、調整力） リーダー性 寛容さ
言語に対する知識 素直な態度 正しい応答の仕方

<題材と支援>・身近な生活に生かせる内容、活動の場を拡げられる内容
・ワープロ等、道具や機器を活用する
・やり方、使い方、言い方等、具体的に正しく教える
・理由を言わせて、目的意識をはっきりと持たせる

(2) 指導方針

- ①目的や意義を確認しながら活動できるようにする。(やりっぱなし、まかせっきりにしない)
- ②自分の考えを言葉や文や絵等にして表し、人に理解してもらえるかどうか確認する。
- ③自分で考えたことや決めたことは、必ず担当の先生に相談してから、実践する。
(自分の考えを客観的に人に判断してもらおう場を設けて、再び自分に返して考える機会を準備する。勝手な判断で行動しないことを徹底する。)

3 指導の実際

指導方針を常に意識しながら、日常的にあらゆる場や題材を使って、できるだけタイムリーに発展的に指導を継続した。

(1) 友だちとの関わり

T男は友だちの態度やしていることがとても気になり、口やかましく注意をする。入学当初はT男のペースに押されてみんなが黙っていたが、人間関係もできるとT男の間違いや言い訳に対して「T男君、なんだかおかしいで」と指摘する生徒が出て来た。「どこがいけないのか」、「自分はどんな気持ちになったか」等、T男に対してははっきりと言うようにさせた。後でそっとT男を注意するより、相手からその場ではっきりと指摘をされる方

がT男にも理解しやすく、生徒同士のわだかまりも解ける。また、そういった友だちの姿を見て、してよいことと悪いことを判断するようになった生徒もいる。

T男は、学校や友だちが好きで人との関わりを楽しみにして生活している。一方的にT男が責められるのではなく、個々の問題をみんなの問題として大切に uptake、各々の言い分や考えをしっかりと聞いてお互いに理解させるようにした。時には教師が代弁してT男の気持ちを確認したり、T男のよさも認めたりして、学級担任として支援の工夫をしている。

(2) 伝達・伝言・報告の方法

T男は思い違いや早合点が多く、意味の分かっていない言葉を平気で使って話すことがあるので、意図が間違っていて伝わることが多い。まず、「落ち着いて」と声かけをして、①順序よく②見たこと、あったことの実事だけを③ゆっくりと話す。場面や位置など分かりにくい時は、④絵に描く。また、⑤5W1Hを確認しながら話を聞く。このことを基本にして事実確認をしてから、「それで、この時あなたはどう思ったのか」と具体的な場면을提示して、T男の気持ちを確認するようにした。発問が具体的なのでT男も答を見つけやすく、余計なことを言ったり勝手に思い込んだりしないで、考えながら話すことが少しずつできるようになった。

(3) 生活単元的な内容～校外学習のお知らせ～

ワープロを使うことを好んで、日記や作文などを打つ。手本があれば、大抵のものならば間違いなく打って時間もかからない。

「夏休みに友だちの家に遊びに行こう」という計画を立てた時、お知らせプリントを作ってみないかとT男に持ちかけると喜んで取り組んだ。以前の行事プリントを参考にして、自分なりの思いも込めてお知らせ文を作った。バスの時間やバス代も、自分がバス会社に電話をして調べたものである。足りない点は補足し、訂正して打ち直させたが、自分なりに目的をもち、責任を感じてしたこの活動に対してとても満足していた。

中学部2年生の皆さん	H8 8. 22
『山本君の家に行こう』	
・12:00 鳥取駅集合 (バスターミナル)	
・原田君 (宝木苑 11:38 汽車) ・村島君 (岩倉苑 11:34 汽車)	
・衣笠君 (南大橋 11:47 バス) ・竹内さん (円通寺 11:44 バス)	
1. 日程	
12:00 鳥取駅集合	
12:15 松上線に乗り (兼谷本～徳尾で途中下車)	
12:30 下段バス降車	
13:00 山本君の家 (着)	
16:00 山本君の家 (発)	
16:35 鳥取駅行バス乗車 (兼谷本～徳尾で途中下車)	
16:50 鳥取駅 (着)	
17:10 村島君～浜坂行	
17:20 竹内さん～新原行	
17:22 衣笠君～雲山日交行	
17:29 原田君～米子行	
2. 交通費 (◎各自～経路を考えて計算して下さい。)	
鳥取駅～下段 (340円～170円) 徳尾～下段 (240円～120円)	
鳥取駅～雲山 (340円～170円) 鳥取駅～鳥居前 (340円～170円)	
円通寺～鳥取 (360円～180円) 南大橋～鳥取 (300円～150円)	
◎練習手帳を使うと、バス代は、半額になります。	
3. その他	
皆さん、山本君の家までは頑張って歩きましょう。	
伊原先生・今村先生・野坂先生も招待します。	

T男が作ったお知らせプリント

4 考察と今後の課題

「休みはすることがないから嫌い」と言うT男は、経験のある範囲から内容を発展させて楽しみを拡げるのが苦手なので、今後も機会ある事に一つ一つ経験を積んで楽しみの引き出しや項目の数を増やし、その意義や楽しみ方のルールもきちんと教えることが大切である。「電話をかける」という一つの方法を知ると、そればかりを手段に使う傾向が見られた。本人は親切のつもりで必要のないことまで友だちや周りの人に電話をし、かえって混乱を招いたということがあった。経験の生かし方(次への手立て、押さえ)を継続して指導することが重要である。真の楽しみを味わうために正しく判断して行動する力をつけるように、今後もT男に寄り添った支援を継続したい。